

前計画 具体的施策一覧

資料1-1

施策方針	基本施策	具体的施策	No.	取り組み	分類	備考(主な市の取り組み、評価等)	次期計画へ継続、終了	次期計画の取り組みNO	次期計画の具体的施策
1. 循環型社会の形成に向けた	(1) 情報発信と情報の共有	○広報誌、啓発誌、ホームページ、掲示、イベントなど様々な手法や媒体を活用した情報発信							
		○ごみ量や収集処理経費を公表するなど、取り組み結果や効果の見える化	1	市	強化	HP上に「ごみ処理量」「家庭ごみ量速報」を掲載。「Rかわにし」への掲載はR2.3月号まで。10月の決算後の公表として3月号に掲載していたが、約半年後となり遅すぎるという意見があった現在はHPに「ごみ処理量」と「家庭ごみ量速報」を掲載し、新たに駅前デジタルサイネージへの掲載を開始した	継続	13	ごみ量や収集処理経費、取り組み結果等の見える化
		○簡単に取り組める減量方法など具体的な取り組み手法の紹介	2	市	強化	「水切り」「ふくれル」「ごみ減量動画」「フードドライブ」「リユースマーケット」等をHP・「Rかわにし」で紹介 また、R4年度からH20リテイリングと連携し、生ごみの堆肥化チャレンジ参加者を募集	継続	1.2.3.4	食べ残し、手付かず食品ごみの削減 フードバンクやフードドライブの促進 エコクッキングの実践促進 生ごみの水切りや堆肥化の促進
		○市のごみ減量化施策や助成制度などの周知	3	市	強化	「集団回収」「生ごみ処理機(R3年度末で終了)」をHP・「Rかわにし」・「暮らしの新聞」に掲載	継続	14	市のごみ減量化施策や助成制度などの周知
		○市民、地域団体、事業所等による取り組みの情報提供	4	市	強化	事業所へは「減量化計画」の依頼とフードドライブ実施の案内を行った 市民、地域団体の取り組み情報の提供はしていない	継続	15	市民・地域団体・事業者へのごみ減量化・リサイクル手法等の情報提供
		○事業者への減量化・リサイクル手法等の情報提供	5	市	強化	事業者へは「減量化計画」の依頼のみで、その後情報提供はしていない	継続	36	事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進
		○市民、地域団体等が実践している取り組みの情報収集	6	市	強化	市民や地域団体の情報収集はしていない H26に美化推進課が作成したチラシを自治会・市民宛に配布(HP「スリムちゃんからお願い」)した	継続	16	市民・事業者・自治体等が実践している取り組みの情報収集
		○市内事業所の取り組みや店頭回収等の情報収集	7	市	強化	事業所の取り組み販売店での店頭回収品目について、県の情報提供により収集しているが、情報発信はしていない。	継続	23	店頭回収の促進
		○国の動きや他自治体の事例など先進的取り組みの情報収集	8	市	強化	各HPや近隣自治体への照会などの情報収集を行った 国の一般廃棄物有料化の手引など、有料化に関する情報収集を行った	継続	16	市民・事業者・自治体等が実践している取り組みの情報収集
	(2) 環境教育、一	○ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施	9	市	重点	HP、「Rかわにし」に掲載。市役所美化コーナー、公民館にチラシを設置し案内を行った (小学校:ワークブックと一緒に学習会のチラシ配布、幼稚園・保育所:教育を通して案内文書とチラシ配布) 子ども向けごみ学習会については、R5に内容を見直した上で実施	継続	17	ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施
		○小学4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進	10	市	重点	「ごみ減量ワークブック」を発行し、全小学校に配布した ワークブックの詳しい内容を補足した「指導用手引」もあわせて配布	継続	18	小学4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進

施策方針	基本施策	具体的施策	No.	取り組み	分類	備考(主な市の取り組み、評価等)	次期計画へ継続、終了	次期計画の取り組みNO	次期計画の具体的施策
た基盤づくり	環境学習の充実	○国崎クリーンセンターの見学に伴う出前講座の実施	11	市	強化	HP、「Rかわにし(H30.10)」で国崎CC見学を合わせた出前講座を案内し、申込時に国崎CC見学の確認を行っている 自治会向け年末年始のごみ収集案内の裏面に、出前講座の案内を掲載	継続	20	国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」との連携
		○学校園・保育所等との連携強化	12	市民・事業者・市	重点	HP、「Rかわにし」等で案内。子どもを対象としたイベントを行った(子ども向け学習会、キッズリ・ぼ・ん、食べきりラリー、エコクッキングなど)子どもを対象としたイベントを実施した	継続	19	学校・保育所(園)等との連携強化
	(3) 協働による取り組みの展開	○マイバッグ持参・ノーレジ袋運動の実施	13	市民・事業者・市	強化	HP、「Rかわにし(H23.11)」で「マイバッグ持参・ノーレジ袋キャンペーン」を案内した H10～H26まで「マイバッグ持参・ノーレジ袋キャンペーン」を実施していたが、エコバッグが浸透してきており、H26をもってキャンペーンは終了。 (出前講座、イベントで啓発、エコバックの配布をしている) ・R2:「食品ロス削減の促進と」川西市食べ残しゼロ運動」登録店舗への事業支援、マイバック普及の促進」を目的とした企画を実施し「mottECOマイバッグキャンペーン」を実施。 ・R3: KOHYOと協働で「マイバッグアンケート」を実施しオリジナルマイバッグを配布。	継続	5	マイボトル等の推進
		○「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施	14	市民・事業者・市	重点	チャレンジ・モニターはH21から実施。 R1は活動したが、コロナによりR2.3のイベント(キッズりぼん)は中止。 R5からチャレンジ・モニターを再開し、キッズリ・ぼ・んも実施	継続	37	ごみ減量チャレンジ・モニターの実施
		○地域(コミュニティ、自治会等)との連携	15	市民・市	重点	HP、「Rかわにし」等で集団回収・出前講座等案内 ほかに、R5自治会向け年末年始のごみ収集案内裏面に、出前講座の案内を掲載	継続	33	地域団体(コミュニティ、自治会等)との連携
		○スリム・リサイクル宣言店など市内事業所との連携	16	市民・事業者・市	強化	従来からの登録店舗の確認を行っているが、連携した取組は行っていない	継続	35	スリム・リサイクル宣言店等との連携
		○事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進	17	事業者・市	強化	R5年度は114カ所の事業所に提出依頼を行い56件(49.1%)返答があった。 提出された計画書の取組内容について、各事業所へ情報提供を行った。	継続	36	事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進
		○国崎クリーンセンター(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)との連携	18	市	強化	構成市町で担当者会議等を開催し、連携を図っている また、事業系ごみの持込について、国崎クリーンセンター実施のごみ収集車展開検査結果を受けて、許可業者の指導を行った	継続	44	猪名川上流広域ごみ処理施設組合との連携(資源循環と脱炭素社会に対応できる施設づくり)
		○近隣自治体との協調と連携	19	市	継続	随時、阪神間各市町のごみ排出量や事業実施状況について照会し、本市の取組の参考にした。	継続	32	近隣自治体との協調と連携
		○生ごみの減量化の促進							

施策方針	基本施策	具体的施策		No.	取り組み	分類	備考(主な市の取り組み、評価等)	次期計画へ継続、終了	次期計画の取り組みNO	次期計画の具体的施策
2. ごみの発生抑制と再使用の推進	(1) 発生抑制の推進	〇食べ残し、手付かず食品ごみの削減		20	市民・事業者	強化	10月は「食品ロス削減月間」のため、市役所市民ロビーにて「啓発展」を実施。R3は「食品ロス削減レシピ」「食品ロス削減川柳」を募集。HP、「Rかわにし」で啓発。R3年度は「食べきりラレー」実施した。また、市内事業者、社会福祉協議会と連携し、フードドライブを実施した	継続	1	食べ残し、手付かず食品ごみの削減
				21	市民・事業者	強化	「夏休み親子バスツアー」を実施 (H27～H28: 国崎CC、H29～R1: 大阪ガス、R2～R3はコロナ禍で中止、R4.7.23実施) R4年度からは、バスを取りやめて現地集合・解散	継続	3	エコクッキングの実践促進
				22	市民・事業者	強化	「Rかわにし(R1.10)」に掲載し、出前講座等で啓発した R5.7「暮らしの新聞」に掲載した	継続	4	生ごみの水切りや堆肥化の促進
				23	市民・事業者・市	継続	生ごみ処理機等購入費助成制度は、R3年度末をもって終了した。 R4、5年度はH20リテイリングと連携し生ごみの堆肥化に取組む希望者を募集した	継続	4	生ごみの水切りや堆肥化の促進
		〇容器包装ごみの削減								
		〇マイバッグ持参・レジ袋の削減		24	市民・事業者	強化	No.13と同様	継続	5	マイボトル等の推進
		〇詰め替え品の利用、過剰包装の削減、簡易包装・ばら売りの促進		25	市民・事業者	強化	出前講座等で啓発、「Rかわにし(H31.3)」に掲載	継続	6	詰替品の利用、過剰包装の削減、簡易包装・ばら売りの促進
		〇よく考えて必要なだけ購入する、不要なものは断る、修理をして長く使うなどごみを出さない行動の実践		26	市民・事業者	継続	ごみ減量啓発動画で、ごみとなる可能性のあるものを極力購入しないよう啓発。また、壊れたおもちゃを修理する「おもちゃのお医者さん」を「きつずり・ぼ・ん(H31.3)」に開催。 大型ごみ有料化説明会時に、修理して長く使うよう説明を行うほか、出前講座や子ども向けごみ学習会などで啓発	継続	2.5.7	フードバンクやフードドライブの促進 マイボトル等の推進 行政の率先行動(市施設等でのプラスチック使用の削減)
		〇事業系一般廃棄物減量化計画書の提出		27	事業者	継続	毎年5月に依頼し提出を受けた (R4: 113件送付し53件回答、R5: 114件送付し56件回答)	継続	36	事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進
		〇製造、流通過程における発生抑制		28	事業者	継続	取り組みができていない	継続	8	製造、流通過程における発生抑制
		〇マイバッグ持参など消費者に向けた啓発		29	事業者	継続	No.13と同様	継続	5	マイボトル等の推進

施策方針	基本施策	具体的施策	No.	取り組み	分類	備考(主な市の取り組み、評価等)	次期計画へ継続、終了	次期計画の取り組みNO	次期計画の具体的施策
		○市の行事やイベントにおけるごみ減量への取り組み	30	市民・事業者・市	継続	イベント等で依頼に応じて積極的に参加しごみ減量の啓発に取り組んでいる(子育てフェスティバル、川西病院まつりなど)	継続	17	ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施
		○大型ごみの有料化導入の推進	31	市	継続	R28.5月から大型ごみ有料化を実施した。H27年度は駆け込み排出で大型ごみ量が大幅に増えたが、その後は減少した状態で推移している。	終了	—	
		○ごみの有料化についての調査研究	32	市	継続	有料化に向けて他市の状況を調査した	継続	43	ごみの有料化の実施
		○市民、事業者への情報発信	33	市	継続	「Rかわにし」で水切りの紹介など掲載。事業系ごみについては「Rかわにし(R2.3)(R6.3)」で「市で収集できないごみ」の中で事業系ごみについて掲載	継続	15	市民・地域団体・事業者へのごみ減量化・リサイクル手法等の情報提供
	(2) 再使用の推進	○リターナブルビンの利用等リユースの促進	34	市民・事業者	継続	取り組みができていない	継続	23	店頭回収の促進
		○フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の活用	35	市民	継続	市では「キッズリ・ぼ・ん」「ふくれル」を開催。リユース情報誌「リぼん」(R4.3末で休止) R5年度に2回、リユースマーケットを実施	継続	10.11.12.21	フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の連携・活用 子ども服・大人服のリユースの実施 “物を大事に使う”子ども向けイベントの実施 国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」との連携
		○リサイクル情報誌「リ・ぼ・ん」の利用促進	36	市	継続	情報提供のあり方を見直すため、R4.3.31をもって一時休止 その後リユース情報サイトのジモティーと連携した取組を検討し、R6.4.3連携協定を締結した	継続	10	フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の連携・活用
		○市民、事業者への情報発信	37	市	継続	国崎CCが発行する「森の泉」でフリーマーケット開催を案内した 事業者に向けた情報発信はできていない	継続	10.11	フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の連携・活用 子ども服・大人服のリユースの実施
		○ごみの分別及び適正排出の徹底							
		○紙類の分別、資源化の促進	38	市民・事業者	強化	「Rかわにし」「分別冊子」で紙の分別説明と、集団回収の啓発。 不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ポスティング)実施 R5.6とR6.2の「暮らしの新聞」で紙の分別や集団回収の啓発を実施	継続	21.29	紙類・ペットボトルの分別、資源化の促進 安定的、効率的な分別収集の実施
		○プラスチック製容器包装の分別の促進	39	市民・事業者	強化	「Rかわにし」「分別冊子」でプラ容器分別を説明。 不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ポスティング)実施	継続	22.29	プラスチック製容器包装の分別の促進 安定的、効率的な分別収集の実施

施策方針	基本施策	具体的施策		No.	取り組み	分類	備考(主な市の取り組み、評価等)	次期計画へ継続、終了	次期計画の取り組みNO	次期計画の具体的施策
3. 再生利用の推進と循環の輪の形成	(1) 再生利用(リサイクル)の推進		○ペットボトルの分別の促進	40	市民・事業者	強化	「Rかわにし」「分別冊子」でペットボトルの分別を説明。また、不適切排出に対しては、ポスターやチラシなどで啓発を実施	継続	21.29	紙類・ペットボトルの分別、資源化の促進 安定的、効率的な分別収集の実施
			○事業系ごみの排出者責任の徹底	41	事業者	強化	「Rかわにし」「分別冊子」で事業系ごみについて説明。事業系ごみの不適正排出があれば現地調査、訪問指導を実施	継続	29	安定的、効率的な分別収集の実施
		○店頭回収の促進		42	市民・事業者	継続	「Rかわにし(H29.10)」出前講座で啓発。事業者に向けてはできていない	継続	23	店頭回収の促進
		○携帯電話など事業者による自主回収ルートへの協力		43	市民・事業者	継続	HP(携帯電話のリサイクルにご協力を)で啓発 使用済小型家電回収では、リネットジャパンを紹介	継続	24	携帯電話など事業者による自主回収ルートへの協力
		○集団回収への積極的な参加		44	市民・市	強化	HP、「Rかわにし(H29.10)」で「集団回収」の紹介。市役所、公民館にチラシ常設。	継続	26	再生資源集団回収への積極的な参加
		○分別ルールの分かりやすい啓発		45	市	継続	HPに「分別冊子」を掲載し、よくある質問と回答を紹介するほか、出前講座などの機会に啓発 R4年度から分別方法を変更し、「分別冊子」を更新し全戸配布するとともに、HP、広報誌や「Rかわにし」で案内	継続	21.22	紙類・ペットボトルの分別、資源化の促進・プラスチック製容器包装の分別の促進
		○店頭回収など事業所の取り組みに関する情報提供		46	市	継続	店頭回収について出前講座で啓発	継続	23	店頭回収の促進
		○希少金属(レアメタル)のリサイクルに向けた、小型家電製品の資源化に関する調査研究		47	市	継続	H26.10から使用済小型家電回収BOX設置済 「Rかわにし(H27.10)」で小型家電回収について啓発	継続	25	小型家電製品の回収促進
		○ごみ袋の透明・半透明化の調査研究及び導入の検討		48	市	継続	ごみ袋の透明・半透明化はH29.2から実施し、分別排出が促進された	終了	—	
	(2) 循環の輪の形成	○リサイクル製品や環境への負荷ができるだけ少ない製品の購入		49	市民・事業者・市	継続	出前講座、学習会でペットボトルがポロシャツ、軍手にリサイクルされる説明をしている。「ワークブック」で環境ラベルについて説明	継続	38	リサイクル製品や環境への負荷が少ない製品の購入啓発
		○グリーン購入法に基づく製品やサービスの情報提供		50	市	継続	市はグリーン購入に基づく製品を取り入れるようにしているが、市民・事業者へ情報提供できていない	継続	38	リサイクル製品や環境への負荷が少ない製品の購入啓発
	(1) 中	○安定的、効率的な分別収集の実施		51	市	継続	R4年度から、地域別のごみ収集体制に変更し、市民にはHP、「Rかわにし」、「分別冊子」の全戸配布や、希望地域での説明会等で周知し、安定的・効率的な分別収集を行っている また、R4に市公式LINEに「ごみ」ボタンを追加導入し、ごみ排出日を前日にお知らせするなどの便利機能を付加した	継続	29	安定的、効率的な分別収集の実施

施策方針	基本施策	具体的施策	No.	取り組み	分類	備考(主な市の取り組み、評価等)	次期計画へ継続、終了	次期計画の取り組みNO	次期計画の具体的施策
4. 環境負荷の低減に配慮した収集処理の推進	定・効率的な収集運搬体制の確立	○収集作業の安全性の確保	52	市	継続	「分別冊子」、「Rかわにし(R2.3、R3.3)」、「出前講座」「森の泉」で分別徹底の啓発をしている	継続	30	収集作業の安全性の確保
		○在宅医療廃棄物の適正排出の周知	53	市	継続	「分別冊子」、HPに掲載 市役所美化コーナーにチラシ設置(H22.2.1版)	継続	40	在宅医療廃棄物や処理困難物の適正排出の周知
		○市民ニーズに対応した収集サービスの充実	54	市	継続	サポート収集について、申請のあった家庭を訪問、面談し、住宅、身体機能などを審査のうえ認定し、必要なごみ排出支援を行っている	継続	39	市民ニーズに対応した収集サービスの充実(少子高齢化社会への対応)
		○適正処理困難物に係る処理	55	市	継続	市で収集できないものは、HP「こんなごみはどうすればいいの」、「Rかわにし(R3.3)」「ごみの分け方・出し方分別冊子」に掲載し周知に努めた。また、事業者のリネットジャパンと提携協定を結ぶなど、適正排出の体制を整備した	継続	40	在宅医療廃棄物や処理困難物の適正排出の周知
	(2) 国崎クリーンセンターとの連携強化	○国崎クリーンセンターとの連携	56	市	継続	国崎CCが発行している「森の泉」に構成市町の記事を掲載するなどの連携をしている	継続	44	猪名川上流広域ごみ処理施設組合との連携(資源循環と脱炭素社会に対応できる施設づくり)
		○国崎クリーンセンター啓発施設 環境楽習館「ゆめぼたる」との連携	57	市	継続	啓発施設において出前講座の実施 「キッズリ・ぼ・ん」での「かえっこ」の開催	継続	44	猪名川上流広域ごみ処理施設組合との連携(資源循環と脱炭素社会に対応できる施設づくり)
	(3) 最終処分場の安定的な確保	○大阪湾フェニックス事業への参画	58	市	継続	HP、「Rかわにし」、出前講座で最終処分場に関する啓発(ごみ減量による最終処分量の削減、最終処分場の長期安定利用等)を行っている	継続	45	大阪湾フェニックス事業の情報提供
		○最終処分の状況について、市民・事業者への情報提供	59	市	継続	市民説明会、出前講座での説明とともに、決算成果報告書に毎年度の状況を掲載している	継続	45	大阪湾フェニックス事業の情報提供